1868

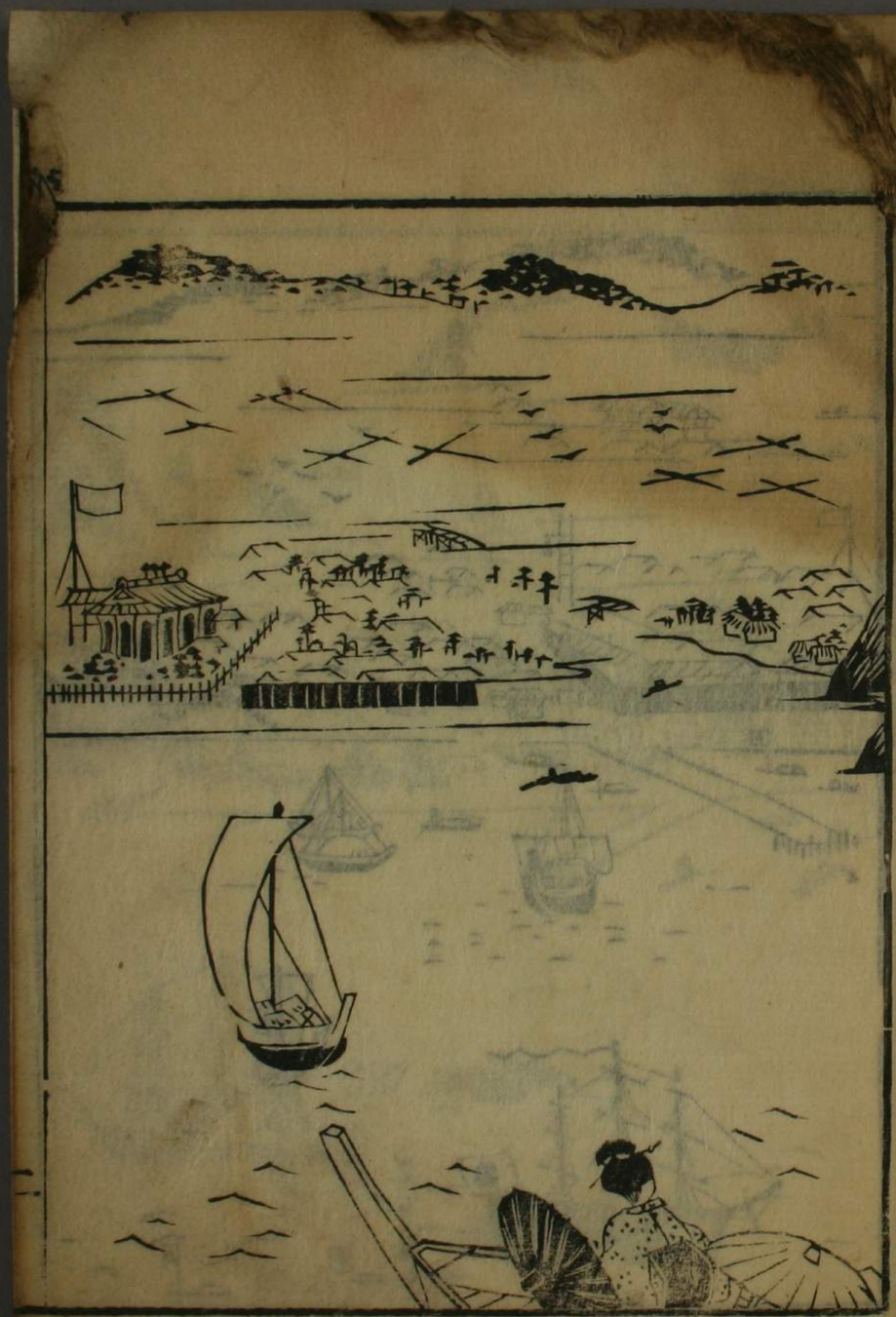
7 道 6
1868

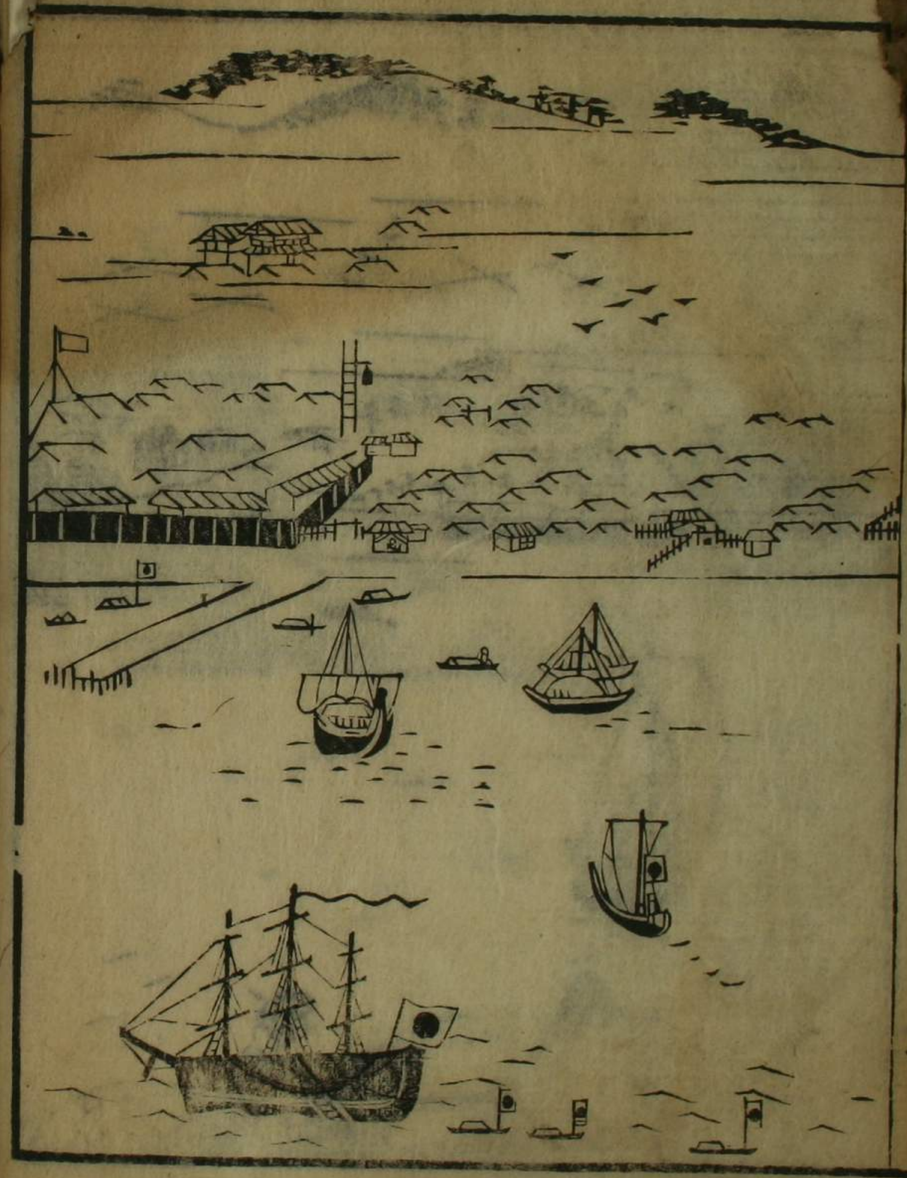
自序

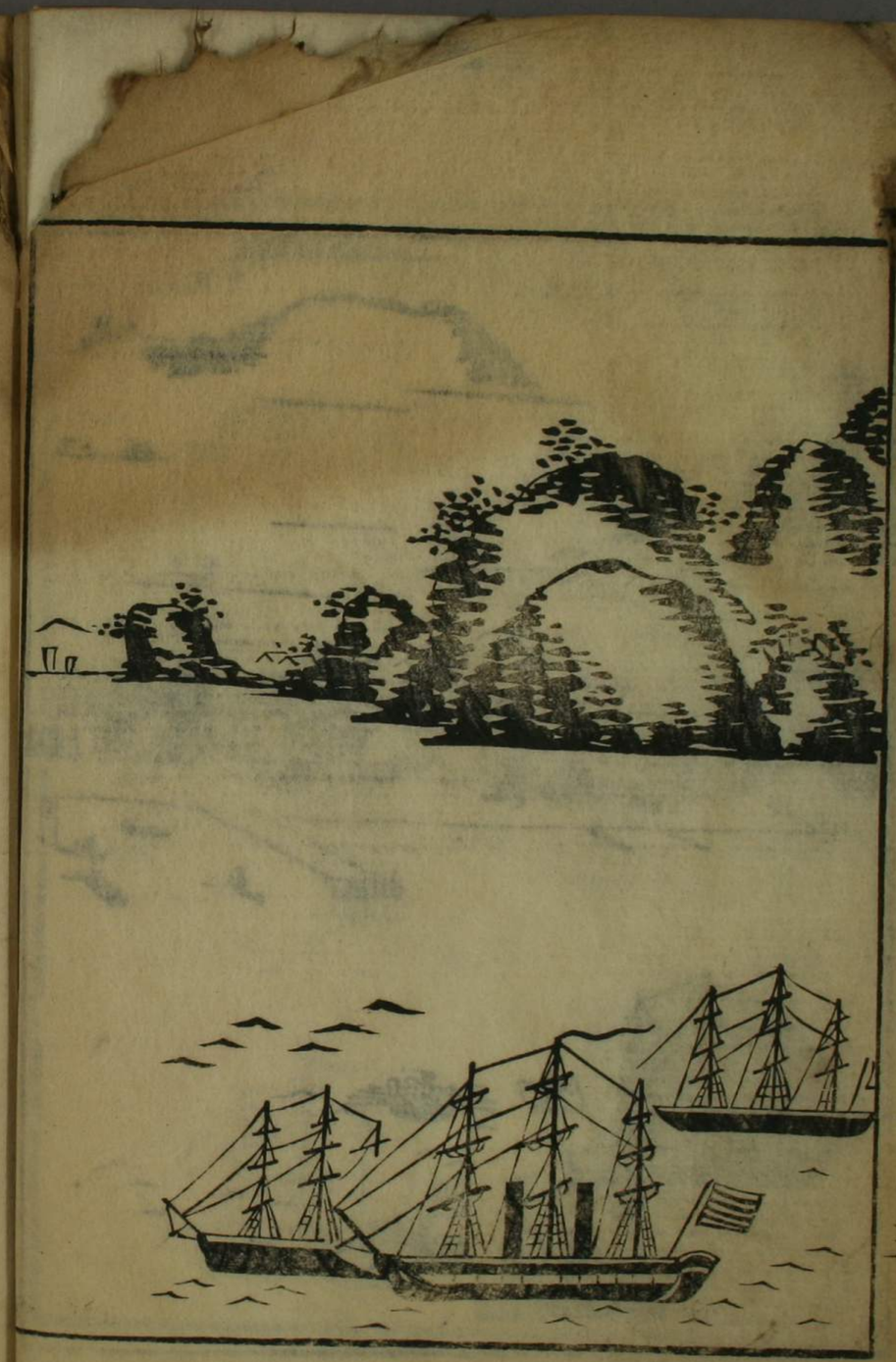
さゝひ採りて横濱郷と名づる愚冊は
江戸より遠國への土産にもと催し
張流筆和らかなる子供之翫りものにもとて
あらた其車乃かくしは志ずし町家
の大家様の仰に寸も此浮世あきま
大冊を版に流しかくしてをそ志るした
小子筆

于時文久二戌とし
葉月吉辰

松仙







九月廿六日新四郎樂苑の北津かたまるを待所連絡の京西うとく
きれ　所うぐあるとくるを尚横濱と及ふあるへうに神奈川
をのこの岸より横濱本町をて目への波かたう海をを星余りうく
繼飛脚十組ろうを波あつ津の印や変て家屋を布るろ地を見ろ
く拵矢つうを布あるくれ度に掛家ろ　く見波を絵奈いなら
く拵をまるのぐかくを　脚色うをむふへ和蘭波へコンミュニル鼓ろ
ちく赤白をの横筋のをを布へ屋んかもを知るへ一濱てみ西ろへ
神奈川方同ろ元のに級電ろう其あるの方年天の松のをむくうを西ろへ
を家九のを屋補ろう拵をろう本町をて目波を書布ニて目に見波

所〻の先ハ御運上屋敷也其角ハ水主頭江戸組九艘組会所ある也
よりて当猟ハ水主出家ちら眺め森あり大松ありて是則 おら神奈
るらは村の百姓家柴漁と十八宿物かちせつ場は当所の村ちら隣家ニあり
て開舗ハ村ありてつくかの百姓流兄村ヘ引橋出来けれとも漁漢ハ今小宮
小使を其猟ハ此所當流出役宅角ハ舞台役中村氏ちらも前来波戸場御役
所當所 美若利出生高の大分衣ケセッキと云富饒なる各国異人
館とハ地形を出来一の籠ハ元くらふ風ニ吹かぶし元村より十二天
のそるそれより当所に館中館ハ甚くらしてかとらふ見ゆる之 後を
嫁ぐむきえ是ハ山のとく浦清寺ありて大の方小生麦村鶴見村帝橋村酒の
川を越て是より松尾ハ瀬田村をして見ゆるハ稲荷田村あり ところとたのむく

を為り出立見れハ市あれ高ちら是より寺とおい 長延寺のコンシユルなる
大小此厳しく許あり其首之代 将軍様御館舗ありて警固之
社楼役所 東照神君御崇此相厳ちら庭ニ 神君様御手植の紅梅を
御朱印之十石 此地所ニ茶ニ百姓武家と云ふ数代医師ありて又
慶運寺と佛のコンシユル ホルトカルコンシユル 成仏寺御朱印十石
あるフラン西此寺ニ於ゴブロ此寺ニ住 浄瀧寺英国コンシユル外ニポイロ
インギリス 善福寺英国コロスクロウ 甚行寺ニハ伝道のミニストル アメリカ青木町小を
神奈川方出役人会所あり是より異人宿寺本覚寺ニ出役人此見廻り
極しされ此月日此とるとのすくもとく本陣様鈴木本陣ニ茶店
場所もして 石清屋ニて一旅別あるかく探ぐ買氏 松平源次殿様御陣屋播

ハ道修町浪花ニ籠出し　おもむらいさ家の名を源左衛門年寄庄左衛門
紀州寺来ありけれ陳屋ハ青木町のうしろとなり又法は嘉永ハ同町
のことなるとき橙璣ニ申あるあり　此下ニ酉宿名代の亀の甲せん処
名内なり印町は庄は後屋利兵衛あり申候　家の河岸は宮と
浦津乃神社ありて実ハ貴きは待あり　本光寺とハ西妻利加生の
コンシユル名ハテレルルと云娘二人倅二人あり　抱もく此妻本ニ而本光寺ト
中ハ至蕃青木利紀の陳屋ありて法宝寺陽光元尭大和尚の弟
備ふる実ニ尊む法華なり

木町としや苑の咲のハ河北紅　　南家尾　松伯

陀と云るも安政六年中鬼門の方より鬼光一番に出し来り



此ハ三国海ある フルコス コンシユル 紅毛国ミンストル名ハベリソルと云同正泉ある所
同国通弁支那布呂獨あるとハ西洋ミンストル言ふ福来禄あるハ英吉ミンストル
綴名アトミラルと申ハ軍艦六十四艘の総大将と云名あるへきしおかり
言像紅いつ来ル大出し其家ハ紅殿ニ麻布をかけてあひやうする女子供
集先忘さしのあのしこ蕃夜を論じ尤尤中く小ハ牛の乳を飲喫
其種ボットルとて牛乳を咬るもの支那ニ食をとる事く小き之にて
胴せまく牛の利番にて乳を溜る後ある乳を焼酎るやうにて呑甚ハ
キヤマンの徳利に入井戸の中にひやしおきたり　産をして生れし子供には
子も母乳く取れぐるなり他国にて牛のちく呑せおやのちてのま
其なり　子供の志つおさえ母子ともに京行のためし大き成木の上人

より綱を結けたる綱のこふ志つ星とはかるなり其綱をカ一ぱんこ川　三
ありて文カ一ていふ句つくりあり六首づゝも花わがりも行よるなり紅
のおくし場がふすさがる是刹暫時なり「馬ふ系のまてかとろね
頭なり「髪美人ハ何年ふ初て是ありと思ひ居まし唯く利なる
是のこん飾りし其一紙を巻ひ結びたる紙なし何ぞも金巾の如く
男女とも常なりし髪を結ハ男女とも様のかし様めんざし
なし香の根ハ草木の葉なく冠物のとくさんなり「髪我朝
ふても髪ハ人皇四十代天武天皇白鳳十年始めて髪を結ぶられけるハ
美人のかくとい今年よふ千百四十年よ成なり「何との寺ふても米の如
きり「将軍塚綴権現は米を八金毘羅大権現地し庄の様に様超全

去年の春を八日ふ本橋通二丁目にて新業の毎年網なり楼奥の境は試蔵
おさなり

様さし毎々仕せし御しまさん　全

此茶の湯座を三清紳妙湯の義ハ万病の妙薬にして茶代の白
新さよらし家ふ志る者なり「真町科程茶屋ハ松本屋下田屋
にらや元浜屋は茶よ
清水山天満宮河内藤大日堂開磨堂は在く「抑此二社ハ元亀
以来の漁師の元祖あみに拠まし をまて是ふ太天満宮より百除の社当
出たよまで昔よりは例ら之当の荒なる事を祭れ桜宮北清水の名所
なり

[illegible]川橋川原を田原行きるを山沢を渡るを雑ちる言ふのてをこやうう奥
の産業ハ行きを百姓情ハ絶絶ちうう

[illegible]やうたふ橋川村

仝

往を田原の新山より川村迄ハ御建立の清心寺ハ量あり山和うう
海と糸を山迄ハ眺の中ハ又極別の足情うう「ひうて怪井沢
ふかし法来ハ川をたるふちハ新沢寺之見うう立て橋ひき左の
「[illegible]ハ橋流」の新左うう「南ハ[illegible]田畑ハ極左衛の左芝生村うう
「橋流新左衛門ハ沢ハ海中ハ行き絶屋新田税屋新田之ハ畑ハ新
て橋ふ南うふ松のハ[illegible]うう橋屋の煙うハ[illegible]ハ[illegible]
人のひうふ[illegible]「[illegible]」[illegible]

の山ハ箱根ハ[illegible]て遠ハ[illegible]ハ法ハ[illegible]ハ絶京うう[illegible]ハ松平ハ[illegible]
ハ見うう「石流ハ宮川ハ[illegible]ハ山ハ[illegible]の間ハ三ツ橋あり新田百橋平沢橋
[illegible]ハ橋ハ宮川新ハ法下面流ハ沢長屋ハ[illegible]ハ先ハ間ハ流ハ沢宅うう
山和ハ石和京ハふ橋箱屋ハうう言ハ和ハ[illegible]ハ[illegible]ハ法目村橋ハ屋敷ハ屋
其下ハ下面流ハ長屋ハうう新の法沢宅ハ間ハ流ハ山和の石をソリメとふ
法来の左ハ主沢流の法屋敷ハ[illegible]「沢ハ坂ハ極左衛の」「延ハ[illegible]ハ山
角ハ論村ハふ料理屋あり向ハ川和ハふハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
て宰屋敷ハ七町ハ[illegible]ハ新ハ[illegible]の方ハ法屋場あり「板川ハうう
ハ先ハ川ハ法屋ハ 御奉行様ハ屋敷之ハ「えうう神京川方武
御[illegible]達ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

たるに仁王門乾坤をさまと文くに拾に成て屋に下る西世尾後
方面武うりさ和もに下る西流に出て屋わり世尾後堀氏和田氏之文ちり小坂
八聖毛坂に見法所さに成て張こ主後流に成て屋ぶ成大聖院と
中寺にり変も清の外えそこしたき和ちり主て往行法来の中小
楠の大古木わり刎摩利支天ちりふ清ぶ出るきにり祢ちり言い
通金建長寺の宿院拂光寺と中寺にり添ぶやとふうるきや
わり仏達の湯屋にり清湯とふ酒屋にり張り国人流に往宅
有こに方こ方へ川と出却宮方に屋ぶに屋ぶに屋ぶに国　酒井
雅楽頭様長田往法ち様に除屋に屋こその小祢ふ門方に後屋
ぶに屋こ通の方こ三浦屋国に屋廣湯屋に方八振法屋之に方の裏こ屋

州下田ちり稲こ方の稲荷祢社社景寺九ちこ之子祢の社わり張
ぶに下西流に長屋ちり粉さ屋ちの清屋に八野毛浦として清方こ清ち
面性屋に八長こ清ちり山雪清花の名和清こ正ぶに屋こ

雪こ　海苔の味　仝

性茶こ屋毛稲山きに下ふ稲荷屋ふに成に屋ぶに屋へこ屋ぶて
動屋ぶつとふうるきに屋ちり向川屋へこ屋ぶて
ちりちり長首ちうるぶ抑日本こそうるぶ紀蒲焼の
きぬこつけこ焼ぶちり蒲のだここに往蒲屋さと名ぶしこちん
往こ茶の方長田新田清ぶこ大祢緑に屋ちり面不定長人えこ如系
七五年長ちり通の方長田町とふ長田橋ちり右を足清に八長田乃

[illegible]

世の中はうつりかわるとうかる　仝

[illegible]

八月の[illegible]わるい港湾の廓うつて[illegible]家毎にわるいをせずにすむ[illegible]

[illegible]中[illegible]ぶ[illegible]中[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]横[illegible]て[illegible]人和人の二

横[illegible]行[illegible]廣[illegible]横[illegible]和[illegible]仕[illegible]の[illegible]

[illegible]八[illegible]織[illegible]和[illegible]

[illegible]横[illegible]
[illegible]廣[illegible]横

岩　園
[illegible]　廓

新[illegible]横[illegible]清横
相の物
岩　井

[illegible]横[illegible]
[illegible]の井
人[illegible]
[illegible]の井

[illegible]横[illegible]
[illegible]の物
[illegible]　紫

[illegible]横[illegible]
[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]横[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]横[illegible]
[illegible]の物
[illegible]の井

金浦横清[illegible]横
[illegible]　清
小　車

[illegible]横[illegible]和横
[illegible]　竹
清　己

出世橋奈良抱
住の井
忠 濱

保橋橋抱の抱
玉川業
春 人

いせ橋祭長抱
大門
重 浦

東橋橋奈良抱
思 案
美 人

新吉橋
車右馬抱
住門
義代花

玉川橋西京抱
錦 糸
光 園

甲子橋奈良抱
紅 梅
菊の井

宮屋橋中義抱
政 子
長 流 川

結び下る彩所並之

第長屋高見世
田舎屋新蔵抱
松ヶ枝

伏見屋長左衛抱
いせ浦

大和屋白木抱
祭 川

武蔵屋むめ抱
梅 花

南ヶ丘長左衛抱
書 琴

上信屋富士抱
長代蔵

同長屋之部

廣州屋龍右衛門抱　小春

福嶋屋茂右衛門抱　濱路

住清屋傳之丞抱　小まつ

若菜屋德之丞抱　春人

梅本屋十太夫抱　吉の井

高瀬屋海之助抱　花

井筒屋新助抱　葉山

中總屋勇吉抱　福山

青木屋長右衛門抱　小櫻

井筒屋長右衛門抱　瀧川

總〆拾六軒あり

富本長屋

金子屋市兵衛抱　相深

三河屋順藏抱　紅梅

金子三河屋新六抱　葉山

岩ノ條屋吉藏抱　金原

総しま

春吉　想吉

宗吉　和吉

大和屋傳八郎抱　花星

立花屋喜兵衛抱　立花

新岩根屋抱　瀧川

淡路島

茂吉　幸次郎

政吉

壽長屋

田中屋賀兵衛殿

亀の井

米屋彦十郎殿

小　龍

富川屋文右衛殿

子　巢

備後屋長兵衛殿

紅　葉

松本屋庄兵衛殿

初　き

白木屋長右衛殿

もみ葉

廣長屋長兵衛殿

鶴　亀

浅草屋七郎殿

こう屋

三井屋長兵衛殿

うめ本

大金屋長兵衛殿

小金屋



石橋屋長兵衛殿

國　重

壽屋和右衛殿

小　櫻

長松屋長兵衛殿

櫻　尾

綿屋長兵衛殿

小西屋長兵衛殿

新壽屋和兵衛殿

住の井

佐野屋

吉兵衛

葉　長

亀　右

友　長

小林屋庄兵衛殿

小　巢

[illegible]

[illegible]

若松屋源八抱 清門

伊勢屋大次郎抱 萬壽

伊勢屋清兵衛抱 櫻木

津の国や八右衛門抱 小松

額田三之助抱 舎浪

若屋源右衛門抱 千年

廣四や彦右衛抱 百代

松葉屋庄次郎抱 小万

井筒屋彦四郎抱 小千代

えびや伝兵衛抱 深きく

座清屋金八抱 照花

添一番 徳次郎

縄屋 根三郎兵衛

末廣長屋

新三河屋清右衛門抱 勝山

江戸屋源兵衛抱 小千代

新長松屋次郎抱 みよ木

長崎屋三之助抱 小露

千三郎

菊台

寅吉

福松

倉橋屋喜兵衛抱 梅木

宗村屋十助抱 三條井

有田屋武兵衛抱 花園

福田屋仁兵衛抱 福人

松長屋十兵衛抱　松ヶ枝

縄ゐ新町

世長屋永次郎　長

第氏印　長

芝　長

張源寺

長　長

宮　長

大物

縄ゐ印

月世界人

弥ゐ印

竜　長

松大内兵衛中の町うり畳ゐりくの花ゐり美ハ横山姫き咲死ゐ美ハ

死菖蒲秋ハ菜萩抱秋ハ仙死ゐ

たくまゐ湯屋魔来ゐ新橋　佐源彩



山中の町のつきけゐ小金屋陸の社ゐ

わくゐわ中橋ハすの代ゐ　松　〃

これさりゐ月ゐ　全

五ヶ浦の山ゐ港や菖りみち　全

芝ゐ山ゐつを橋ゐ夜の高

西川橋抱　男世界人の紅

西川屋抱　市　松

美世屋抱　る　長

大和屋抱　ん　か

屋敷抱　て　つ

芝抱　ま　を

芝抱　之　物

芝抱　小　ん

見高　長　ん　湯

いせ橋抱　小　長　げ

きの宮抱　屋　京

屋　と　い

芝屋抱　金　長　代

芝屋抱　小　金　八

むさしや抱　ど　金　ド

いせや花　栄吉
神田花　子代
[illegible]花　[illegible]
[illegible]花　[illegible]
[illegible]花　[illegible]
[illegible]花　[illegible]

神田花　小三
田中屋花　[illegible]
さの屋花　小[illegible]
[illegible]花　小[illegible]
[illegible]花　小[illegible]
[illegible]花　小[illegible]

栄八　[illegible]八　[illegible]八　[illegible]八　[illegible]八
[illegible]会　[illegible]人　[illegible]人
男の[illegible]　[illegible]会[illegible]人

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

玄関守　[illegible]
同張合　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
同張合

源[illegible]　[illegible]
清[illegible]　[illegible]
金[illegible]　[illegible]
新[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

酒屋渡世
成田屋 伝 平
清屋 長 七
伊や 万 清
壹の新屋
茶屋 徳右衛門
三河屋 伝 蔵
大黒渡世 源 八
揚屋渡
長谷屋 新 助

湯屋渡世
京の湯 屋 四郎
髪結床
浅 吉
廓人入
長谷屋 新 助

大門茶屋
富沢屋
市兵衛
金次郎
文 吉



追加
女郎衆の部
金石楼抱
ま 吉
東楼楼抱
て る
新宮屋抱
小 万
吉村屋抱
ま ろ
八幡屋抱
た 吉
いせや 小 八
きのもや抱
た 吉
岩佐屋抱
小 つ

仲の町
茶屋の部
むら田
田屋
長いせ屋
新 こ の

大門外
茶屋の部
中村屋
長谷屋の
若王屋
京川屋
むら田
宮こし
大和屋
九屋
稲葉
甲子
宮いつこ
和泉屋
玉屋
新 久
ま ち や
文 吉

# 市中出店の記

一弁天通三丁目勧酒と中菓子屋ハ長崎の出店なるパンの名代横浜名物なり拵外にも品あり

一同五丁目蓮杖写真とアス画師ハ英国画師の写真油画仕候

一洲干町某屋善八ハ料理人の料理仕候

一駒形屋上尾上町四丁目角横屋揺て物売死人出る美人情系大変出し仕候



右ハ母印元治元年ハ通とも其の内異人も出るらしやはん母印ハ別にあるなり異人見世三年ニ入也ハ庭髪ハ連中も一夜洋銀三枚なりとはいは肉出て芸能様への割烹店ちんまで指切なりさけ茶屋庭家も宿めわけなりなり町にかと茶妻もあり 大門前ハ仲村と茶屋と絵屋と其の西やたり地一宴も 橋あり見附り橋と茶屋茶屋異人家続く吉田町五丁目弁天通のつき当りも住くるもけだの方より又その続り一所ニよし芳意流の作まして去

ハ橋詰さくらし

かしましき蛙のこゑやちさしきね　仝

吉田橋詰番所より續ハ入舟町なりつき当りハ㊅の髪結床なり右へ曲りての通りハ吉田町一丁目なり寅さ吉田屋源左衛門ハ當所に宅港いせんより此所を出発

はかりなりける時もとなを沒れ新宮田所八丁堀を死れ狂美人殿永徳
うりを丁目と信氏紙氏光長藤蔵うりを角〳〵方長と云酒屋あり美
器と云茶屋あり名代のそばやなり二丁目〳〵 佐野屋と云料理仕あり
金物うり茶屋あり六丁目小
田屋新橋の金屋社あり いつもの酒屋あり 揚屋 揚屋七丁目〳〵すま
酒あり角の紅梅亭〳〵屋の小料理あり 宴〳〵御発の角力場地面浮借人を
山西久を清ちう清ち表駒番頭大熊有人うり 狂〳〵うり〳〵茶屋元世 キ平之
日本八丁目田舎屋と云料理屋あり 左田屋平次平松茶屋うり宴〳〵蓮光寺と
以ちたり是利源左衛門延之の一名宮うり角〳〵美人のせんたくやなり 山つき角
是元八花川村と云今安三百八郎七百俵屋の地うり 山ちく〳〵美人家宅変
あり名は大なる表ちと捨間うり キハるは九尺表ち求るまめ新〳〵 左右〳〵

十五

十二軒ツあり むす通〳〵二百のうちうり 朝八ツ小て庭のおとく きえうり
出ち〳〵表三尺の石橋うり 「ごくやうり」 ちを〳〵風雅ち云 「ツ小美人の食料
牛屋 豆腐ちう 先物を商ふ美人うり 山和ち牛を 九ちわく 数〳〵 貢を切
大橋物をとう 沒をむき大きあり ぼぎ少て ちう〳〵 ちうを 西を 左
猪泥橋ち一名 猪も出ちう 緑の十小 完 長あり〳〵 美ち入ちう 「ちの 今を
きをは 成つ〳〵 ぬ〳〵 「形 文 花 〳〵 美人 銀 出 事 〳〵 「宮田所 を丁目 橋
角う 新 美の 社あり 「拝い 橋 ち 舞 ち 水の 寄 傳 八 江 法 土 所 の 彫 刻 中 て 元 八 三 舟
大 社の 橋 ち 小 結 産 ち う 〳〵 ち 而 添 新 新 ち 山 不 一 動 作 ち 〳〵 ち 不 狂 い 者 ん
ちう 角 ち て 表 く 緑 紅 ち 元 依 人 の 社 ち 不 ち れ 余 八 略 を 表 ち 不 ち ち ち れ
作 ち う ち 山 新 古 の 角 ち 「百 席 山 料 屋 を 平 橋 ち 風 雅 ち う 料 屋 茶 屋 あり

瀧の水をうけむとて瀧へ入るる長六法五四平方丈七尺絶景の
所侍るる

とてもかくやはらまて考ふる瀧うしら　仝

むかふも角屋と云料理茶屋なる花代の渓考しる紅毛繻子膳床わり膳床と云
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちうこやい福井屋清兵衛清水清兵衛人
絵清兵衛ちう屋の角い赤屋と云絵来紙屋ちう　年先通りもあるなのちう
つきいづやと云茶のめしやわりあるわえせ油屋世話引屋ちうかふ
角屋ちう酒屋わり横丁ち茶やと云料屋あり紅連集　大村と言うはや
京屋茶屋ちう京住先ちそやん作屋敷とてちうかちう宝光御向屋あり



横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
横町小松町長崎丸通り清水と川町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶
ひろう大工師五郎清角の信仝右
四と云大通へ出る月番当町ちう　丸屋敷八幡酒やうて仝年猶

此外美濃秋國の瑞西大人世話様目を挂けらるゝを依頼あり「東光堂」ハ五丁目自分
南向の角ニ大和屋といふ薬屋あり清水亭寿ろうといふ「重復庵」主家
庵中當庵は後宅は長屋之其先一番美人鎮といふ座敷「絶け所」ハ廣瀬旭荘の門人にて書家
ともいふ家主目せのそきかるゝ人の東京居なしひ辰と津文辞集の有名あり
「豪を敷段と云たる」坂あり是廊の入口にて二丁行けいやといふ生薬屋
あり又後といふ絵屋の湯といふ薬湯あり庄屋屋といふあさ三和雑門と次
料理屋あり
柳川もあり「廣瀬旭荘」之豊後ハ町會所行運上所波止場の方に出るなり
「義」中天笑の社の表通りハ本十二丁目なり中屋といふ洗湯屋なりといふ洗湯
問屋あり美濃屋の書物もあり世話の書屋あり書肆同屋呉服同屋等
又廣屋兼助南部出役人様方の御蔵屋敷「縫」ともいふ大通りも五丁目分

五丁目まで行り角ハ浪花町用三井といふハ呉服の世話人服る薬種の屋相たり
和物屋物入世話すり古屋を江戸屋あり二丁目とハ大坂屋といふ呉服入世話の袋
屋ハ薬種屋鹿島屋大黒屋之世又呉服屋の薪木屋あり漆物屋ハ海屋安
く物中屋金之湯なり絵物金物屋其他屋源右衛門なり三丁目もいろいろの見世物
四丁目行ると云浪花府高人好む物屋なり

神々や ふく菜ひそかに 色ぞこもりぐ　仝

荒江や
蕉石や
是ハ日本橋の出張りて五丁目行側江戸好む物問屋洋債物なり町奉行
若屋菊荒小物ハ其宗人也
㋚
塔鶏や
中宗縁
行り株屋源七方ハ白屋上田やハ路宗
不斎
近畿や
紫利あり
此部古家の家くハ美物和物座敷行き所金張等る脇珊瑚樹をちりばめ
手敷を尽し庵古部内ハ家ぼたん銭財多くある都に勝えるもなし

おゝきくかまへ実に広大なる商人なりと〓〓西洋の茶湯あり
四本町金右衛門店ハ角ハ鉄物屋といふ家ありて尾張屋といふ酒問屋ありて見よ【五運】に
新らしき宗右衛門アメリカ人名ベルリの時通せる場所に定宿にて取極めより
立花小田港にて交易すへし 〓内外相始る時ハ洋銀一枚を三分ニ通用する
安政六未年六月中当横浜にて交易始る時洋銀三分通用ニ極めたり
然るに其利分の内洋銀出来る事ハサンセンメキスエウと申し新らしき此時の

御老中様ハ
太田道順様
間部下総守様
久世大和守様
内藤紀伊守様
脇坂中務大輔様

若年寄様ハ
安藤対馬守様
諏訪因幡守様
遠藤但馬守様
牧野遠江守様
酒井右京亮様



外国奉行様ハ
村垣淡路守様
堀織部正様
水野筑後守様
[illegible]守様

浦賀奉行様ハ
[illegible]伊豆守様
伊沢美作守様

一 本町通り振ハ絹紙町続く江戸大家といふ大建家といふ商家ごありて八百正といふ
料理茶屋大黒屋ハめしやなり角ハ横浜出当茶屋八百屋なり西田屋といふ美
人家守金右衛門 宮田屋蔵之宗旦人茶屋定有人なりき 山横丁ニ通ひ何右
江戸衛も見物ある人々続く茶屋并蔵より【見よ】先ハのこらず

美人鏡ある所角に美人の絵看板かけ置き三十二文見物させ八百まで住居
たたり居籠くの座すたゆうてねがし居置く八人前に擲頼あり
立見人様に志くいふも女のたとむ書るを当りて打出して世界の揺頂
る其居もわからぬる姓二つぬし三文の居の居置の如くる角に宛
あり三尺程の甚兵衛中に赤玉二つ白玉二つならべ六尺斗の棒にて玉を
つき自分の玉を他の玉に当りて穴へ落し得まるなるを「打つかり大
玉三十二ありいろいろの車なまとも景物を出してさかれて置く也
「板御天道りと本町通りのるよ南筋通りゆし二丁目よ左の湯屋ありこ丁
目に入る所半に賣込しろと㊄大屋の売込ある汗肉屋と云ふ生菜屋
あり秋田屋と云ふ手きやあり長代川と云ふ大店と菜湯あり四丁目下賀屋

と云ふ茶屋賣込ある宰世と云ふ毬だやなりの角に金色と云ふ菓子やあり松
川屋と云ふ新たる店の所々「浦さ南の八五丁目にて当町一丁目と云ふ料理屋あり
清水と云ふ菓屋あり浦半ハ横濱出方なり「松本町通りと浦岸通りの筋へ出
坪通りあり二丁目に中田屋又吉左衛の店あり二丁目 横浜名所 あり五丁 松の湯や
目よ江一番御中茶の茶と云ふ店あり弁あり後家田屋蔵
並ぶる所在屋ハ石茶屋あり「浦さ南のにし運上所は在所に屋敷もあり毎
夜市中にありて往来も尻沢にて出店にも美人鏡にも尻沢にありて吉田屋
湯屋あり
る市中一周の長ひ浪の声るまで「又此十二所本町壱丁目つき当り浦
其の海岸金通りて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くらい長町[illegible]の[illegible]で[illegible]「又右の方には[illegible]

徳院の[illegible]かぶいたりの方、港湾の廊[illegible]その全盛て[illegible]

きりる海の方は[illegible]の[illegible]く入南[illegible]て[illegible]二筆[illegible]方[illegible]目の[illegible]

[illegible]「南[illegible]の[illegible]は[illegible]

の[illegible]

南町政[illegible]人[illegible]扱人[illegible]

涼しさは森のうらゆ白帆哉　松伯

[illegible]

[illegible]

[illegible]

往わり拵い十二天の山作ハ三作七代地作義を繋ぎ
岩角ハ行く浪ふそくぎて砂よハ砂のめ〳〵流ふるゝ
ふつゝ民部第五兵衛ちゝをぢ〳〵成家ゝ
「高系村海水と村根屋村ゝ」 結高と云ふ山科往ある山田畑と云ふ山科往根
落屋行ゝ見ゝ 「板田村三軒板の名ゝ金沢ゝ三軒高系ハ高の
初ゝ家ゝ 濱笠ハ軒ゝ 「八王寺山ゝ」 ゝを入れ高ゝ石間ゝ浪人根出往
ゝ美根の出入ゝ軍ゝ二本ハ注進ゝ 「家ハ第一の堅固の地ゝ和がたる
青山ゝ 「入海ハ美根和ゝ」 ゝ海ゝ伝ゝ同を語ゝ大根ゝ 「中ハ
美ゝ遠ゝ情報九ゝ十ハ英国母ゝの根ゝ根ゝ長ゝ二十二ゝ中ハ
大筒拵ゝ捉ゝ巴ゝ美徐ゝ

ゝ内ゝ三を移ゝ
川ゝ極ゝ敵ゝ 「彩文大元帥ゝ中ゝ改ゝのゝ
廣大ゝ猪ゝの方ハ廣き板のゝ
ゝ兵組ゝ浪人根ハ軍艦方伝ゝ方様式ゝ方行ゝ川方ゝ板金三百
八十人程ゝ見物ゝ人ゝ
軍艦ゝ元帥ゝ薩元根ゝ
ゝ川ゝ人ゝ綱ゝ大筒ゝ
角ゝの沖ゝ右ゝ
ゝ根を遠ゝ

「見物美ゝ
長三十八間中十間ゝ二階造ゝ
ゝ根新ゝ入場ゝ二階ゝ
ゝ世ゝ奥ゝ
ゝ大筒三十八挺掛ゝ中ゝハ世ゝ挺
ゝ人根ハ軍艦方伝ゝ方様式ゝ方行ゝ川方ゝ板金三百
ゝ考ゝ行ゝ浪ゝ
ゝ高ハ第ゝ
ゝ元ゝ集ゝ
ゝ田表ゝ
ゝ十二挺ゝ上綱ゝ
ゝ根ゝ
ゝ根ゝ長ゝ

家ハ見を殺るに大地震「去大元九百三元申年九月中南京人男女とも
死人三百六十人程アメリカ洋船山へ飛揚る帆ハて海中ハて船風こわひ事
を恐ぶる日本へ吹流さ是を船をつくろふ中さは船に貸こをに「祈京川方ヲ通
流ニ人ツ出役ニ是「柳枝船を流ハ人皇十六代　庭作天皇五年伊豆國
ハて流く船を遠く長サ十丈余ありて船底ハ日金山の樹ハ今年より六百
十年ハ流る「長者ぢいハ山へ芝ハ川へ流ハ山の程「かちく山の程
とうさぎちの船を造ハ「笠ハ金の船をさうぢ「今文位茶屋ハの
鬼ぶる　高須の船を遠く長サ十二ハ中二ハ丈本ハ毛なもの「殺ハ「毛を染
蕨事船を伝を初を赤田者ハ事を二度こぬ「ハく鬼作船ハ用ひを事ハ
矢の船ハ作事「位伝を八天皇ハ「弁天「猪ハて「位「玄九

申年七月ハ十二キリスト國人馬車人絵様遠ハ出ハ人の言ハ言ハ八ハ人の俵
流く金ををあるあるのを猪に乗ハ人ハ言ハ人ハ言ハ人ハ言

法の茶ハ始まり今ハ抹茶を茶筅にてよくたてたるを飲ム
みてまろ氏「夫我邦にて茶の始ハ八代 後白河院建久二年栄
西禅師入宋し帰朝の時茶の実三粒持来る」「梅の尾の明恵上人遠
忌を梅の尾ハ植始め又宇治ハ稀に今ハ宇治より右上人伝ふ
伝来を「抹茶の始ハ八代十八代 慈作天皇十四年吳の三人より
人名クレハ人名アヤハとふ二人の女を召せ織ものとり今年を
百七十年ホロボ「吳の人来いろいろ来て大たんなり中ゆ
ムを用ひ氏を系数を以氏せ氏ハ氏くさくふる」「土産ハ日本
の職人の祝日氏の振舞ハ氏あり」「ハ氏ハ氏ハ氏ハ氏ハ氏
ろ氏く利欲ものを拾ひ」「いづれも大ものふまて来ハ
くたるハ氏ハ氏中ハ氏茶利ハ人ウインリウトと中ハ高人ハ氏ハ日本の身
ヴリこと氏ハ氏て来ハ氏ハ氏通人ハ氏」「ハ氏ハ氏ハ氏ハ氏ハ氏
ハ氏ハ氏ハ氏ハ氏ハ氏

いとも安潟をのきき又八湯の中へ入くゝえてゐるゝ以ハ六ゝつゝ合て又ゝ寄
ゐる「才二ゝ紙ゐ」主人之注来れ如を三丈ばかりゐ山如八を命ををんゐゐ
を人ゐるふを「主人注宗拍の打ゝハ如ゐるゝ出之の者八京竹宗竹の人ゐゐ
ゐ「出家の二階又八茶屋の二階掃除へゐゐゐ如ゐゐ明ゝこゝ之掃除へ
ゐて人ゐゐ出ゝゐゐみ出ゝゐ如ゐをつゝ汲者の紙ヤホの書ゐゐる人如ゐゐ四ふ
きゐをつぶゝて如ゐゐ注意ゐゐゐゐゐゐ「月外の如八ゐゐ
ゐゝ者をゐゐ八如ゐゐゐ「主人の如八主人者ゐけぬ間八ゐゐゐゐ
ゐてゐゐゐ寄せの二階へ行てゐゐ如ゐゐ又行ゐゐゐ四ふ湯ゝ姫打の柄
をにふゐゐる主人の出ふをゐゐ八ビイドロ陰ゐ紙を
ゐゐ四ふ八蕨八方ふ沢山如ゐゐ「ゐゐ大の煙八湖の筒ゐて印ゝ出ゝ



ゐゐ四ふ八ゝ一ゐ弟ひゐ如仕掃ゐゐ「夜八角力の夫ゝの拭ゐゐ如茶之ゐゐ
ゐ夫仕之ゐ夫仕の如をゐゐ仕掃ゐて汗八ゐゐ八の如ゝ大風の出ゐゐ寄ゝ如之
ゐゐ八ヒイドロ仕掃出て居ゐゐ如ゐゐ居ゐゐ居ゐゐ如ゐゐ木の之
ゐゐ布ゐゐゐ皆ゐゐ拭ゐゐ印ゐゐ八皆石拭ゐゐ長拭八之八生織ゐて大きふ
ハツポウ二拭ゐ三拭ゐ主て居ゐゐ「長八ゐゐ白衣麻織ゐ金ゐ二ゐ金之
ゐゐゐ如ゐ織出て毒の之八布を夜ゐ。パン牛乳ゐ青物八ゐゐゐゐゐゐて用ゐ
牛の乳牛の汁ゐゐゐゐゐ汁を用ゐゐ箸ゐ「小刀一ゐ如ゐのゐゐ熱ゐを用ゐ
二拭の仕牛ゐ大切ゐて小刀ゐて切ゐゐ切ゐゐゐ八之酒八飲ゐゐゐゐて主ゐゐ「肉
の青刀ゐゐ仕事の打ゐ二日ゐ二ゐゐ丁ゐ長ゐゐ「工ゐ弟の長八
ゐ花の拭余八ゐ本の長ゐて拭を色天井張ゐ如ゐゐ「花之重

重拍のごとく「往古きる法をとり八半の左一拍ツ引拍かきるる」「是一番の法
をもちゐ時おどりたり男女ともうでを組見拍よ拍とり」「男拍と合せておどりる
「留拍いるごろ〜ふ」「こきうト」「せうト」「七ときト」「琴と笛と二番とをもる番ごろ男」「是ハ
重氷の上を足除とふすわり見ハ鉢をかゝめる為るうと拍組」「唐の拍をこゝすど
金あり撓組者て鉢を浮者て五六ろうり七八る拍面見を掉くもるるり拍途
中ゝ拍をもるもたり途中ゝ男て又ゝ方へ踊るもあり見初ゝ為てゝ踊ばな
踊ゝ「男ハ上夜ハ」「女ハ」「為ハ」「為法へ出く水をあびるゝ」「見又拍ゝ人
ゝ〜ハ夜夏遠川合て出ゝ踊ゝ

異國時斗打拍の数を知る事

左ゝ為ゝ

| | | |

[illegible]年[illegible]月[illegible]元[illegible]の天[illegible]年[illegible]月十[illegible]の
天[illegible]六十三年八月[illegible]日の[illegible]月の[illegible]
[illegible]

軍艦の帆とあらわす春乃風　杜伯

[illegible]や梅の[illegible]紙帆掛　仝

大[illegible]に[illegible]　仝

何[illegible]　仝

「[illegible]」[illegible]
[illegible]舟[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]

[illegible]軍艦の[illegible]の[illegible]の[illegible]を[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]

金銀御取扱御用三井組
高橋住長文
同　三井八郎右衛門
三井源右衛門
勝手取扱役
三井宗十郎
同　則右衛門
名代　番村伝次郎

御用取扱役名代
奥村久右衛門
浅沼田義兵衛

御運上所法
宮崎英保太郎
石塚良吉郎

大阪御役所
御勝手方出役
道願義七郎

御国港場町名主
本町壱丁目　六左衛門
同二丁目三郎
徳兵衛
同四丁目五郎
久次郎

町会所法
町年寄
前田清兵衛
同　徳右衛門
勝手寄役
屋井源右衛門
一丁目町役人
勝蔵
新兵衛
二丁目町役人
惣右衛門
新兵衛
三丁目町役人
重左衛門
長兵衛
四丁目町役人
源兵衛
文兵衛
五丁目町役人
善兵衛
義兵衛
町会所附役人
英助
三郎兵衛
勝五郎
重助
巳之助
源兵衛
朱右衛門
勝助
御運上所
義墨

[illegible]田町名主　源左衛門
同　組頭　[illegible]
[illegible]

[illegible]港町年寄　石川徳右衛門
元町名主　[illegible]右衛門
組頭　四郎右衛門
同　又四郎
同　源四郎
同　[illegible]右衛門
同　又右衛門
[illegible]港町廓左建人
名主　[illegible]
見習　[illegible]

[illegible]同利[illegible]用達
[illegible]屋年[illegible]代
[illegible]清
同利役十[illegible]清
[illegible]
[illegible]行　[illegible]
[illegible]役所[illegible]
運上所[illegible]清
[illegible]八

金[illegible]御用[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
金[illegible]町[illegible]
[illegible]小[illegible]



[illegible]行用達

[illegible]町名主　孫[illegible]清
同年寄　孫右衛門
[illegible]　[illegible]
組頭　[illegible]
町役人　四[illegible]清

大[illegible]町名主　庄右衛門
長[illegible]

同年寄　[illegible]右衛門
[illegible]右衛門
[illegible]右衛門

運送方
[illegible]屋[illegible]四郎
村田屋[illegible]
[illegible]屋源七郎
[illegible]屋[illegible]
[illegible]屋[illegible]
[illegible]屋[illegible]
石川屋又四郎
青木屋[illegible]
大井屋[illegible]
金子屋[illegible]
[illegible]屋[illegible]

[illegible]荷物[illegible]屋[illegible]
[illegible]
源[illegible]専　[illegible]

和蘭陀役人
役名ミニストル
名デベテン
小役人
名 源
別番
業 吉

同國役人
役名コンシエル
名ボスボクス
小役人
名 作
別番
業 吉
[illegible]

亞米利加役人
役名メノシタ
名ハルクス
小役人
名 作次郎
別番
業 吉

同國役人
役名コンシエル
名カンス
小役人
名 久次郎
別番
業 金次郎

和蘭陀役人
役名ミニストル
名源左衛門
源左衛門
源左衛門
源十郎
幸吉
又四郎
仁三郎

同名佐次
小三郎
[illegible]
久右衛門
[illegible]

和蘭陀役人
[illegible]
源 [illegible]

同青木所[illegible]
給木源左衛門

和蘭陀役人
[illegible]
[illegible]
[illegible]

同青木所[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

英吉利役人
役名 ミニストル
名 子ールセン
小役人 文吉
別番 長吉

同國役人
役名 コンシュル
名 ゲビテンワイス
小役人 繁次郎
別番 友次郎
姫 たか

仏蘭西役人
役名 ミニストル
名 ベリコー
小役人 彩助
別番 長太

ホルトガル役人
役名 コンシュル
名 クラック
小役人 梅吉
別番 松五郎
姫 多川



外國人士官商人役名並

一番 英國 ガバール
姫 佐吉
小役 常之清
別番 平蔵

二番 亞國 ホール
小役 源三郎
別番 長蔵

三番 英 メンサール
小役 清助
別番 仙吉

四番 英 ベール
小役 常吉
別番 長助

五番 ホルトガル ホルトクラック
姫 たか川
小役 伊三助
別番 松五郎

六番 ハッパ
姫 孫
小役 福松
別番 岩吉

七番 英 シトロン
姫 てつ
小役 長八郎
別番 源蔵

八番 蘭 ハイフテン
小役 音次郎
別番 長吉

同

裏長 右

拾一番

拾四番 英アスブ子ル
小役 太三郎
別番 徳西郎

九番

拾二番 蘭ストイト

拾五番

拾番 佛ブレット
小役 長之助
別番 熊 右

拾三番 亞シメット
小役 清 右
別番 右西郎

拾六番 英マース
小役 勇吉郎
別番 郎西郎

拾七番

八番 英三ストル

拾三番 英ハエン
小役 常 右
別番 兼 右

拾八番

拾一番 英士官 ガーハル
小役 な 右
小役 長 右
別番 信 義

拾四番

拾九番 英ドーメン
小役 長 助
別番 右 助

拾二番 右士官 職
夢函 角次郎

拾五番 蘭ブラーン
小役 太 光
小役 辰 義
別番 虎 義

馬屋 フラーン
別番 法 義

九七番

九八番 英ベーロ
姫 た 番
小役 平 川
別番 和 安 次 郎
岩 右 衛 七

九九番 英ベーロ 藏

同鍛工官
小役 張 次 郎
別番 八 五 郎

百番 佛 レイテルマン
コンスタンス
姫 た 番 ま
小役 安 次 郎
別番 源 七

百一番 佛役人 ミニストル
姫 ふ く
小役 長 之 郎
別番 源 七

百二番 英ロレロ
小役 英 二 郎
別番 右 衛 門

百三番 ロ シンスット 藏
番番 庄 之 湯

百四番

百五番

百六番

百七番 マキニセイ
姫 八 重
小役 義 長
別番 米 右

百八番 英シトロ 藏
番番 右 義

百九番

四十番 ロ アイズロー
小役 米 右

四十一番 蘭 バタケイ
姫 實 野
小役 万 義
別番 作 右

四十二番 英ヨン
姫 ま を
小役 利 御
別番 熊 右

四拾三番 蘭ライス
姫 てう
小役 冨蔵
別当 吉助

四拾四番 ロスチャル
姫 志ま
小役 久蔵
別当 茂助

四十五番 藏

四十六番 藏

四十七番 円

四十八番 円

四十九番 クロンボウ リヨウジ
小役 定吉

五十番 英トテレル
姫 きく
小役 源之清
別当 長之清

五十一番 英メイテラント
小役 伊之助



五十二番 英デイセム
姫 ウ
小役 長助
別当 金蔵

五十三番 英サンジ
小役 長吉
別当 幸之助

五十四番

五十五番 英マキトメン
小役 岩吉

五十六番 英マリワシン
小役 太之清
別当 市之助

五十七番 英モハテイ藏
蔵当 伊之助

五十八番 英ロレロ持
小役 之清助

五十九番 フレイマン
小役 房吉

六拾番 佛ブルキマン
姫 [illegible]
小役 金之清
別当 金次郎

六十一番 英ライス
張 て 字
小役 冨 藤
同 法 藤
門番 吉 助

六十二番

六十三番

六十四番

六十五番

六十六番 英コンシュル
張 た ら
小役 稲 次 郎
別番 新 助

六十七番

六十八番

六十九番

七拾番 蘭カブタイメン
異人旅籠屋
張 きん
小役 彩 七

七十一番 英ガルベル
小役 亦 吉
別番 長 ヶ 中

七十二番 英フローベンルライス
小役 利 之 治
別番 吉 八

七十四番 英ユーフレーカツ
小役 源 助

七十五番 英ジョージ
張 き
役 定 ん 七

七十六番

七十六番 英メン
小役 張 市 吉
別番 張 西 市

七十九番 ロプシンブラヲ
張 と 了 助
小役 名 助
別番 長 吉

八十番 佛ジラルモニク
天主堂異人寺
小役 菓 次 郎

八十一番 英クラヲ
頭げん
小役清吉
別當武秀

日館 異人パン焼 フランキヨ
頭なら
小役富次郎

八十二番 亞セメンス
醫師
小役勝次郎
別當英助

八十三番
八十四番

日銀工官 英アブヒレン モンゴメリン
頭ゑ
小役林秀
日秀之助
別當長吉

八十五番 英メコキル
小役政吉
別當栄助

同館 佛アマニヤク
小役別當兼伊
八

八十六番
八十七番 英ユーステン
頭ら
小役六之助
別當治助



八十八番
九十一番 英ホコンス
小役彩吉
別當孫次郎

九十四番 亞シタン
小役今吉
別當栄吉

八十九番 佛ジヤクマン
小役雷次

九十二番 佛クチヨー
小役常吉
別當巖吉

九十五番 支那人 三四人住居
小役為吉
日吉八

九十番 英フローベン ルライス 特

九十三番 亞ロブシン 英ベーカ
小役金蔵
別當秋吉

九十六番

九十六番

百一番

百二番

百三番

百四番

百五番

九十九番

百六番

百七番 蘭ナリセウ

百八番

百九番

百拾番 コーブル

百拾一番 ヲトルメン

百拾二番 ホヲタル

百拾三番

百拾四番

百拾五番

百拾六番

百拾七番

百拾八番

百拾九番

百二十番

百二十一番

百二十二番

百二十三番

百二十四番

百二十五番

百二十六番

百二十七番

百二十八番

百二十九番

百三十番

百三十一番

百三十二番

百三十三番

百三十四番

百三十五番

百三十六番

百三十七番

百三十八番

百三十九番

百四十番

百四十一番

百四十二番

百四十三番

百四十四番

百四十五番

百四十六番

百四十七番

百四十八番

百四十九番

百五十番

百五十一番

百五十二番

百五十三番

百五十四番

百五十五番

百五十六番

百五十七番

百五十八番

百五十九番

百六十番

百六十一番

百六十二番

百六十三番

百六十四番

百六十五番

百六十六番

百六十七番

百六十八番

百六十九番

百七十番

百七十一番

百七十二番

百七十三番

百七十四番

百七十五番

百七十六番

百七十七番

百七十八番

百七十九番

百八十番

百八十一番

百八十二番

百八十三番

百八十四番

百八十五番

百八十六番

百八十七番

百八十八番

百八十九番

百九十番

百九十一番

百九十二番

百九十三番

百九十四番

百九十五番

百九十六番

百九十七番

百九十八番

百九十九番

百二番

百三番

百四番

百五番

百六番

百七番

百八番

百九番

百拾番

百拾一番

百拾二番

百拾三番

百拾四番

百拾五番

百拾六番

百拾七番

百拾八番

百拾九番

百二十番

百二十一番

百二十二番

百二十三番

百二十四番

百二十五番

百二十六番

百二十七番

百二十八番

百二十九番

百三十番

百三十一番

百三十二番

百三十三番

百三十四番

百三十五番

百三十六番

百三十七番

百三十八番

百三十九番

百四十番

百四十一番

百四十二番

百四十三番

百四十四番

百四十五番

百四十六番

百四十七番

百四十八番

百四十九番

百五十番

百五十一番

百五十二番

百五十三番

百五十四番

百五十五番

百五十六番

百五十七番

百五十八番

百五十九番

百六十番

百六十一番

百六十二番

百六十三番

百六十四番

百六十五番

百六十六番

百六十七番

百六十八番

百六十九番

百七十番

百七十一番

百七十二番

百七十三番

百七十四番

百七十五番

百七十六番

百七十七番

百七十八番

百七十九番

百八十番

百八十一番

百八十二番

百八十三番

百八十四番

百八十五番

百八十六番

百八十七番

百八十八番

百八十九番

百九十番

百九十一番

百九十二番

百九十三番

百九十四番

百九十五番

百九十六番

百九十七番

百九十八番

百九十九番

近来西ヨリコンシエル役所

役清右

英ガアル　日和佛コンシエル役所

役高橋

横浜所中横丁
英ロシヤ　日南仏通
英コンシエル役所

役為右衛門

横浜所中横丁
英ワルス
妹ね

役乙右
別番牛屋

役長三郎

横浜所
ヨ　シヨヤ

役長右
別番熊右

右田町八丁目坂中
佛ウエルウエル

役政右
別番金八

役重次郎
日　伊左治

役茅右
別番久左治

埋立地　牛屋

英国船ユニコック

役行次郎

ムエル和助

同所　牛屋

蘭舟大工
フライ

役長右

大工民幸左治

同所異人宰館
宰守

右五箇所
法合

茅右
須次郎
播次郎
松助
与左清
久左治
金助
七

清涼行樂
別當 橘大夫門

御運之所作
別當 源之卿

青女所令所
別當 金之卿

高麗之樂高麗
乙鳥 源八
之長舞
之神之樂
長之卿

高麗伶人
青海波
高麗伶人

一番組
本組

改

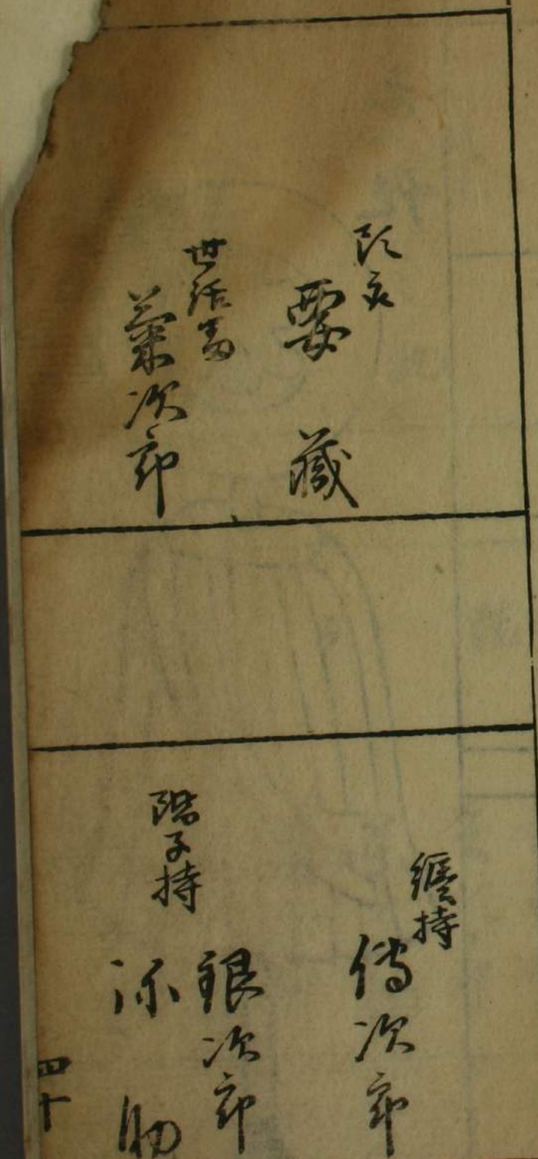
清次郎
太 右
長次郎
長次郎
政五郎

取

纏持 左 納
陪子持 長之郎
青次郎

二番組 ち組

三番組 ヨ組



四畫組

壺組

常衣

幸原帝

長西帝

寅藏

辰西帝

兼衣

文衣

弟衣

右之所衣八人ノ

道具世話役 熊次郎

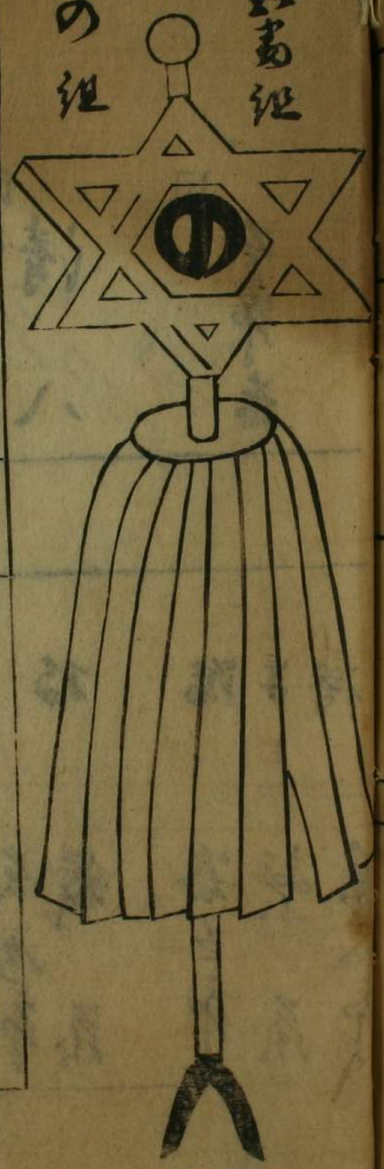
纏持 秋西帝

衣西帝

階子持 三次郎

五畫組

四組



纏

寺

菓杖

椎太郎

衣西帝

改文

郎ゝ助

階子持

帝西帝

三次郎

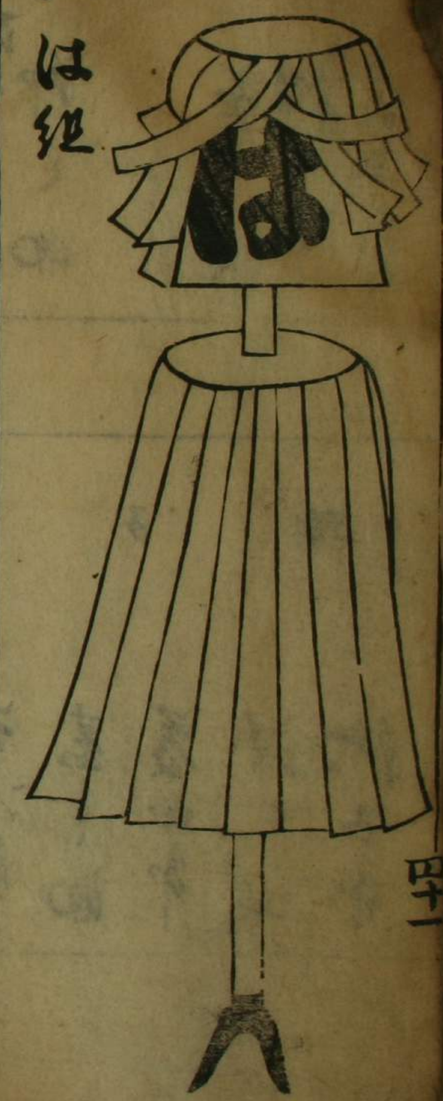
嘉ゝ助

義四郎

泳七

秋西帝

六畫組　法組



氏文　清　八

日　右部右

纏　金次部
柏　兵次部
　　幾部

踏　安右部
子　繫部
持　嘉太部



七畫組

廓組

氏文　源　八

世伝部
文次部

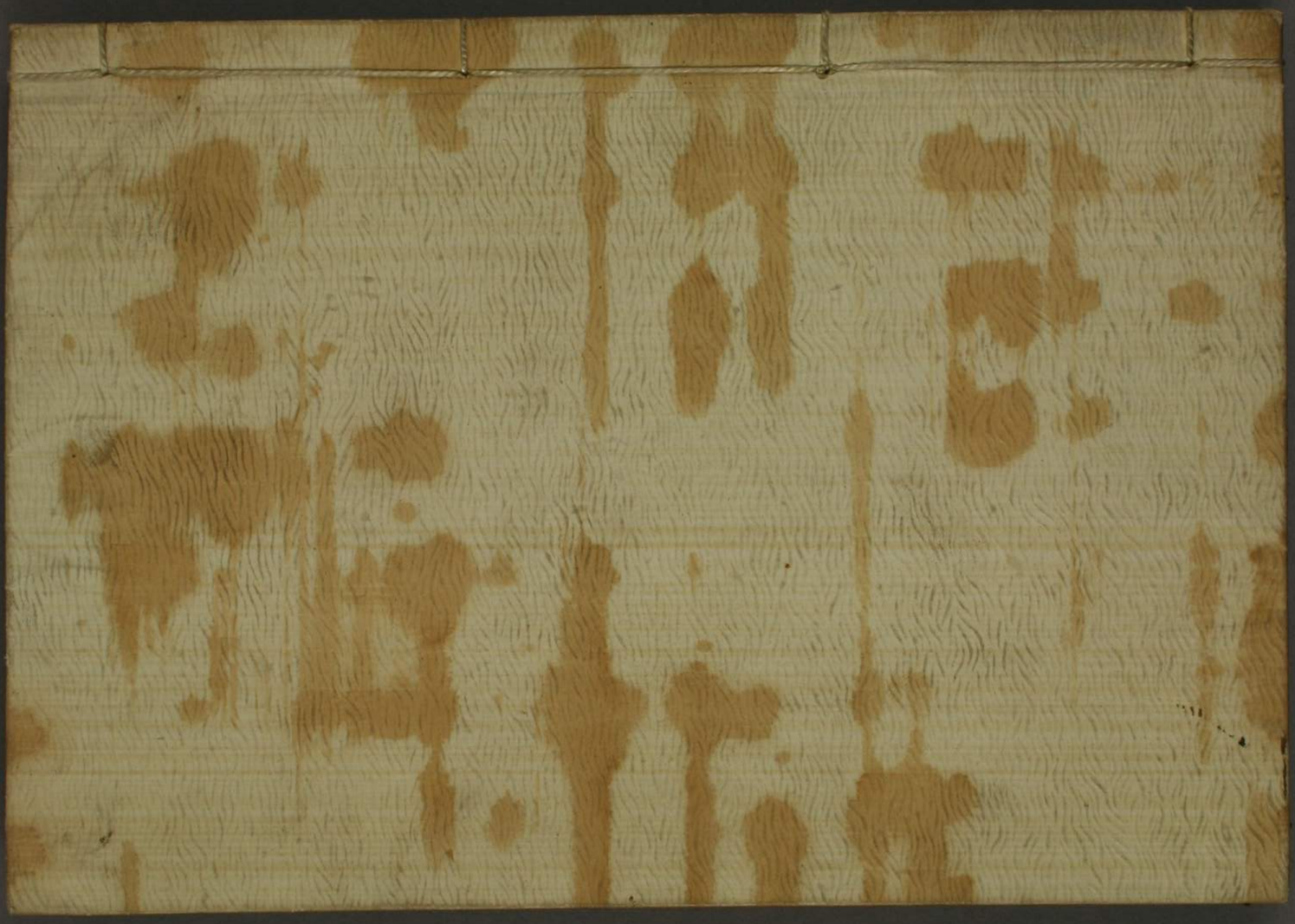
纏柏　子右部
　　繩西部

踏子柏　次部右
　　徳次部

5年　月

㊐

元町四丁目横丁とりつき
料亭　八
紀州田辺藩西の橋屋

[illegible]相遠[illegible]流行又は名和おいし遠又[illegible]
[illegible]
[illegible]節工は早老[illegible]

元町二丁目横丁とりつき
拝[illegible]米八
紙[illegible]西橋西の橋詰